

埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2023年 1月 第15号



## 現場の声を県政策決定の場に



### 質問項目

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. 医師確保策と地域偏在の解消について
3. 県立学校体育館のエアコン本設置について
4. 踏切における視覚障害者の安全な通行確保対策について
5. 電気自動車及び充電器の普及促進について
6. 地元建設企業の受注機会拡大について
7. 通学路の安全対策について
8. 川越市内の一級河川新河岸川上流区間の河川改修について



埼玉県議会 議会中継 (録画)

令和4年 12月 定例会

### 質問項目3 災害時に避難所となる防災拠点の14県立高体育館 県方針転換、エアコン本設置へ

本年も深谷けんじは、現場第一主義を胸に、新型コロナ対策、防災・減災対策、地域課題の解決等、全力で動いてまいります。

昨年12月定例会で深谷けんじは、令和元年12月、令和3年6月に続き、防災拠点校に指定されている14の県立高校体育館へのエアコン本設置を求め、一般質問を行いました。

深谷けんじが提案し、令和3年8月に実施された災害時を想定したエアコン搬入・設置訓練について、教育長は、多くの人員や時間が必要であることや車両の搬入路が確保できないなどの課題を挙げ、「災害発生時の混乱の中、避難所の速やかな環境整備に支障となる」とし、「エアコンの本設置を検討していくことが必要と考えております」と答弁しました。

深谷 顕史氏 (公明、川越市)

【質問】防災拠点校に指定されている県立学校14校の体育館に電源の整備のみを行い、避難所となった際にスポットクーラーやパッケージエアコンを調達するという対応は疑問が残る。機器が確実に確保できる保証がなく、道路が寸断されれば搬入もままならない。昨年私が訓練を行うよう求め夏に実施された。現地を調査した安藤友貴議員は搬入の際の作業員の確保や搬送トラックの取り回し、設置時間などの課題を指摘し、教育長は「本設置も選択肢を含めていきたい」とのコメントがあった。国



### 避難所にエアコンを設置

【高田教育長】訓練結果を受け、県では14校全て改めて現地調査を行った。調査の結果、体育館の入り口に段差がありスロープを設置する必要や排気口を設けるために壁や窓を加工する必要があるなどの課題が学校ごとに明らかになった。災害発生時の混乱の中、人や物が不足する状況を想定すると、作業が必要になることは避難所の速やかな環境整備に支障となると改めて認識した。課題克服のため、エアコンの本設置を検討することが必要だと考える。今後、緊急防災・減災事業債の活用期限などを見据え、ランニングコストなども含めた財政的負担について検討を行うなど、取り組みを進めていく。

▲12月9日付 埼玉新聞2面

14の県立高校 川越・川越工業・新座柳瀬・狭山経済・鴻巣女子・杉戸・坂戸 所沢商業・蓮田松韻・松山女子・上尾・本庄・いずみ・久喜工業

### 質問項目1 感染症対策を担う人材育成

## 新型コロナ対策 トレーナー事業 福祉施設など対象拡大

### 質問・答弁要旨

Q 私は新型コロナとの闘いが始まって以来、50回以上に渡り、最前線の医療現場に足を運んできた。私を突き動かしたのは、「県のコロナ対策決定の場に、医療現場の声が届いていないのではないか」との思いからである。どれだけコロナ病床を増やしたとしても、医療人材が増えなければ、提供できる医療のキャパシティには限界がある。

こうした状況を打開するために、私の提案も受けて県は、感染症専門医や感染管理認定看護師を派遣して、院内の感染対策や治療法を研修する「トレーナー派遣事業」を創設した。本県が先進的に実施している、トレーナー派遣事業や感染症対策を担う専門人材の育成事業について、診療所や福祉施設などへ対象を広げるなど、より発展した形で推進すべきと考えるが、所見を伺う。

### A 大野知事

トレーナー派遣事業は、これまで40か所に派遣をし、コロナ患者の受入れのために専門的な知識の習得や技術の向上を図ってきた。今年度からは、感染症の基礎を学び、将来、対策の中心的役割を担う人材の育成を目指す感染症専門人材研修を始めたところだ。座学・演習・実習を織り交ぜた実践的な研修として、病院のスタッフを対象に143人の申し込みを頂き、3回の実習と延べ6回の実習を実施した。

議員指摘の通り、診療所や福祉施設などにおいても感染症の知識を持ったスタッフの配置が望ましいと考えている。特に、重症化リスクが高い高齢者の入所する福祉施設のクラスター対策には感染症の知識を有した人材が欠かせない。今後は、診療所や福祉施設のスタッフを研修事業の対象に拡げ、感染症の専門人材の育成に努めていく。

県 高校体育館に本設空調 事業債の期限意識し検討

県教育局は、体育館へ活用したエアコン本設置のエアコン本設置を見据え、指定している県立高校37校のうち14校の体育館でエアコン本設置を検討している。14校は川越▽新座柳瀬▽狭山経済▽川越▽鴻巣女子▽杉戸▽坂戸▽所沢商業▽蓮田松韻▽松山女子▽上尾▽本庄▽いずみ▽久喜工業。

現状は、移動式クーラーなどの活用を想定した電源を確保することで、非常時に備える体制。ただ、入り口に段差がある体育館では、仮設スロープを設置する必要があったり、排気口を確保するために壁や窓を加工する必要があったりするなど、実運用上の課題が浮き彫りになっている。

開会中の県議会における深谷顕史氏(公明)の一般質問に対し、県は本設検討の必要性を改めて強調。財源とならざるを得ない緊急防災・減災事業債の適用期限(2025年度)を踏まえ、検討に注力するとした。

▲12月13日付 埼玉建設新聞2面



▲埼玉医科大学総合医療センター 岡秀昭教授と断続的に意見交換



# 深谷質問、報道各社が注目!

新型コロナワクチン県接種センターについての質問は**テレ玉**で速報!

## 質問項目4

### 踏切における視覚障害者の安全な通行確保対策について

**県** 誘導ブロック設置へ  
特定道路の踏切3カ所

県は、視覚障害者の安全な通行を確保するため、踏切の踏切3カ所、踏切手前、踏切後方に誘導ブロックを設置する。川越市内の1カ所では、踏切内の誘導表示などの設置に向け、鉄道事業者との協議に入った。バリアフリー化が求め

県は、視覚障害者の安全な通行を確保するため、踏切の踏切3カ所、踏切手前、踏切後方に誘導ブロックを設置する。川越市内の1カ所では、踏切内の誘導表示などの設置に向け、鉄道事業者との協議に入った。バリアフリー化が求め

県は、視覚障害者の安全な通行を確保するため、踏切の踏切3カ所、踏切手前、踏切後方に誘導ブロックを設置する。川越市内の1カ所では、踏切内の誘導表示などの設置に向け、鉄道事業者との協議に入った。バリアフリー化が求め

▲12月13日付 埼玉建設新聞2面

## 質問項目2

### 医師確保策と地域偏在の解消について

**整備費2分の1以内補助**  
順大新病院誘致 県が18年に確認書

県がさいたま市に誘致を進めている順天堂大医学部付属の新病院の整備費補助について、県が2018年に大学側と「整備費2分の1以内の補助」を約束する「確認書」を取り交わしていた。大野元裕知事が8日の県議会でも明かした。確認書の内容が公になったのは初めて。大学側は整備費を公表していないが、関係者によると、1000億円を超えると推測される。「2分の1」の補助率が適用された場合、県が多額の支出を強いられるとの懸念が上がっている。

「整備費の総額や補助条件などは今後議論されていく大きなテーマ。県負担が相当な規模になることも予想され、今後、県民に納得のいく形で説明する必要がある」と述べた。

大野知事は答弁で、18年に同大と確認書を交わしたことを説明。整備費の補助率を2分の1以内で承認した計画では、がんを無償貸与▽完成予定を3年遅らせ23年度

「整備費の総額や補助条件などは今後議論されていく大きなテーマ。県負担が相当な規模になることも予想され、今後、県民に納得のいく形で説明する必要がある」と述べた。

大野知事は答弁で、18年に同大と確認書を交わしたことを説明。整備費の補助率を2分の1以内で承認した計画では、がんを無償貸与▽完成予定を3年遅らせ23年度

▲12月9日付 毎日新聞埼玉版

# エネルギー価格・物価高騰等への支援策が決定

12月定例会で成立した補正予算では、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者、県民への緊急支援策が決定(右記に主な支援策)。医療機関等への支援は、公明党県議団が大野知事へ緊急要望を行い支援が実現しました。

また、高騰する食料費の影響を緩和するため、高齢者施設・障害者施設(入所系5,000円/定員1人、通所系60,000円/施設)、児童養護施設等(5,000円/定員1人)、保育所等(2,000円/定員1人)に対する支援が決定。エネルギー使用量やCO2排出量の削減を加速させるため、中小企業等の省エネ・再エネ設備導入費用の一部補助も行います。

#### 県内医療機関等に対する支援

光熱費等の価格高騰の影響を緩和するため、緊急的措置として県内医療機関等に対し補助

- 病院、有床診療所、分娩取扱助産所:45,000円/床
- 無床診療所(歯科含む)、調剤薬局:40,000円/施設
- 施術所(あん摩マッサージ指圧はりきゅう、柔道整復):20,000円/施設

#### 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減

農業生産者の支援及び県民の家計負担の軽減を図るため、県産農産物を使ったキャンペーンを実施する量販店等に対し補助

- 直売所等での県産米増量キャンペーン:2割増量
- 量販店でのポイントキャンペーン  
県産農産物購入者にポイント2割付与

## 動く力! 聴く力! 実現する力!

### 通学路の安全を確保 地域要望が実現

#### 横断歩道設置



▲豊田本一丁目付近市道

#### 九十川スロープ改修



▲川越ハイツ付近徒歩橋スロープ



▲自転車など安全な通行が可能に!

#### 深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 48歳  
神藤幼稚園卒園、川越市立南古谷小・中学校卒業  
東京農業大学第三高等学校卒業  
創価大学文学部社会学科卒業  
2019年4月埼玉県議会議員初当選 現1期  
公明党県幹事・企業局長・青年局長  
公明党川越総支部 総支部長

環境農林委員会 副委員長、議会運営委員会 委員  
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 委員

深谷けんじ  
ホームページ



Youtube  
深谷けんじ  
チャンネル



#### 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

##### 埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

##### 自宅事務所

〒350-0015  
川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393